

骨軟部肉腫肺転移における肺切除の役割の検討

研究の意義:

骨軟部肉腫は肺に転移することが多く、その制御は予後を左右する重要な因子です。集学的治療が行われている現在の骨軟部肉腫肺転移における肺切除の意義を明らかにすることで、より適切な手術適応や時期の決定が行えるようになります。

研究の目的:本研究は、集学的治療を行う現在の骨軟部肉腫肺転移診療における肺切除の意義を明らかにする。

研究の方法:当科にて 1996 年 1 月から 2016 年 12 月に骨軟部肉腫肺転移に対し肺切除を受けた患者さんを対象とします。病歴、診療録、画像所見、手術所見、臨床検査データを参照し、それぞれの疾患に対する治療内容、治療順序、治療成績を検討します。

研究の対象に該当する患者さんへ:プライバシー確保のため、患者さんが特定できないようにデータを処理した上で解析を行います。また、研究結果を公表する際には、症例のグループごとの解析結果の発表となり、患者さん個人が特定されることはありません。それでも、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、すでに発表済みなどで必ずしもご要望に沿えない場合があることをご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

〒565-0871

大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 呼吸器外科学

山本 陽子

Tel:06-6879-3152 Fax:06-6879-3164

E-mail:yyamamoto@thoracic.med.osaka-u.ac.jp

研究責任者:

〒565-0871

大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 呼吸器外科学

新谷 康

Tel:06-6879-3152 Fax:06-6879-3164

E-mail:yshintani@thoracic.med.osaka-u.ac.jp